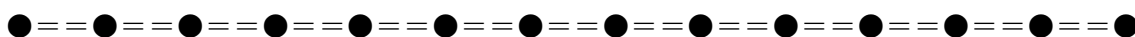
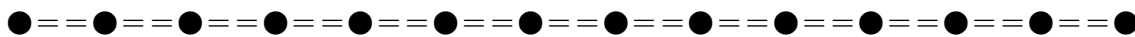


平成28年2月10日発行



B i o T e c h T O K A I —メールマガジン 第134号—

特定非営利活動法人東海地域生物系先端技術研究会



**** 《もくじ》 ****

- 1. 平成27年度地域産学連携支援委託事業
- 2. 東海地域で開催されるセミナー・シンポ・会議等
- 3. 地域外でのセミナー・シンポ・会議等
- ☆農林水産省等のイベント情報の URL
- 4. 競争的研究資金について
- ☆平成28年度農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業 (農林水産省)
- ☆平成28年度 厚生労働科学研究費補助金 (一次公募) (厚生労働省)
- ☆平成28年度「創薬基盤推進研究事業」(1次公募) (AMED)
- ☆平成27年度研究成果最適展開支援プログラム ステージ3 NexTEP-タイプ(JST)
- ☆平成27年度 ICT イノベーション創出チャレンジプログラム (総務省)
- ☆民間の競争的研究資金を14件掲載
- 5. 新技術情報
- ☆農林水産・食品分野の新技術の紹介 (1件)

◆1◆ 平成27年度地域産学連携支援委託事業

☆平成28年度競争的研究資金制度等公募説明会

◆2◆ 地域外でのセミナー・シンポ・会議等

○農林水産省農林水産技術会議事務局では、農林水産関係の国立研究開発法人等の開催するイベントを紹介しています。イベントカレンダーのURLは下記の通りです。

<http://sto.affrc.go.jp/event/calender>

○国立研究開発法人農研機構が開催するイベント情報のURLは下記の通りです。

<http://www.naro.affrc.go.jp/event/index.html>

○国立研究開発法人農業環境技術研究所が開催するイベント情報のURLは下記の通りです。

<http://www.niaes.affrc.go.jp/sinfo/sympo/sympo.html>

○公益社団法人農林水産・食品産業技術振興協会が開催するイベント情報のURLは下記の通りです。

<http://www.jataff.jp/>

◆ 3 ◆ 平成27～28年度競争的研究資金等について

☆平成28年度「創薬基盤推進研究事業」(1次公募) (AMED)

国立研究開発法人日本医療研究開発機構(AMED)は、平成28年度「創薬基盤推進研究事業」に係る研究開発課題を以下の要領で公募しています。

【分野等】

- ・薬用植物の新たな育種、栽培及び生産技術等に関する研究
- ・生物資源の基盤整備に関する研究 等

【公募概要】 <http://www.amed.go.jp/koubo/010120151224.html>

【公募要領】 http://www.amed.go.jp/content/files/jp/koubo/010120151224_kouboyoryo.pdf

【公募期間】平成27年12月24日～平成28年1月21日(正午)

.....

☆平成28年度 戦略的情報通信研究開発推進事業(SCOPE) (総務省)

http://www.soumu.go.jp/main_osiki/joho_tsusin/scope/

【分野等】・若手ICT研究者等育成型研究開発

- ・電波有効利用促進型研究開発
- ・地域ICT振興型研究開発

【公募期間】平成28年1月12日～2月12日

.....

☆平成27年度研究成果最適展開支援プログラム ステージ3:NexTEP-Aタイプ (JST)

本制度では、企業ニーズを踏まえた、企業による大学等の研究成果（研究シーズ）の実用化開発を支援しています。

【応募要件】 実用化を目指す未だ企業化されていない新規の研究シーズが存在し、かつ、JST への独占的実施権の設定に関して、当該研究シーズ所有機関等による同意が得られていること。

【応募企業要件】 ・日本国内に法人格を有する企業であること
・開発成功後、開発費の返済ができる財務基盤を有すること
・開発成果を実施できる体制を有すること

【公募期間】 平成27年10月15日（木）～平成28年3月31日（木）正午

【公募概要】 <http://www.jst.go.jp/a-step/koubo/index.html>

【公募要領】

http://www.jst.go.jp/a-step/koubo/files/h27-nextep-a/h27-a-step-nextepa-tunen_kouboyouryou_01.pdf

【研究開発期間】 原則10年以下

【研究開発費】 ～15億円

- ・開発成功時：開発支出額を10年以内の年賦返済（無利子）又は一括返済
- ・開発不成功時：開発支出額の10%を返済
- ・開発成果実施時は、売上に応じて実施料納付

.....

☆平成27年度 ICT イノベーション創出チャレンジプログラム (総務省)

情報通信審議会最終答申において、「2030年に求められるサービス像」を実現するために必要となる「国が取り組むべき技術開発分野と具体的プロジェクト」として、次の7つの具体的プロジェクトが例示されています。

- (1) いつでもどこでも快適ネットワーク技術
- (2) G空間高度利活用基盤技術 (Tokyo 3D Mapping)
- (3) 以心伝心 ICT サービス基盤
- (4) フレンドリー ICT サービス技術
- (5) 社会インフラ維持管理サービス技術

(6) レジリエント向上 ICT サービス技術

(7) 車の自動走行支援基盤技術

本事業の公募対象となるのは、上記7つのプロジェクトをはじめ、幅広くICTそのものの術や ICT を利活用して農業、医療、交通、教育などの異分野との融合をはかり、社会へ大きなインパクトをもたらす可能性を持つ、革新的な技術やアイデアを活用した新事業の創出を目指し、POC（Proof of Concept：概念検証）に取り組む技術開発課題です。

【公募期間】平成27年5月18日～平成27年度中はいつでも応募可能

【公募概要等】http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01tsushin03_02000127.html

【公募要領】http://www.soumu.go.jp/main_content/000357699.pdf

.....

『民間の競争的研究資金』

☆公益財団法人山田科学振興財団：「2016年度研究援助」

[http://www.yamadazaidan.jp/jigyobosyu_kenkyu.html](http://www.yamadazaidan.jp/jigyobosyukenkyu.html)

分野等：自然科学の基礎的研究

公募締切日：平成28年2月26日

.....

☆公益財団法人三島海雲記念財団：「平成28年度学術研究奨励金」

<http://www.mishima-kaiun.or.jp/assist/>

分野等：食の科学に関する学術研究等

公募期間：平成28年1月25日～2月29日 (1月号新規掲載)

.....

☆一般財団法人糧食研究会：「2016年度研究テーマ募集」

<http://www.ryouken.or.jp/>

分野等：食品機能、健康・栄養、食品加工技術、食品安全などに関する研究

公募期間：平成27年11月20日～28年2月29日 (12月号新規掲載)

.....

☆公益財団法人畠山文化財団：「平成28年度 研究助成」

<http://www.ebara.co.jp/csr/foundation/topics.html>

分野等：環境・エネルギー・バイオマス等

公募期間：平成 28 年 1 月 12 日～ 3 月 10 日

(1 月号新規掲載)

.....

☆公益財団法人タカノ農芸化学研究助成財団：「平成 28 年度研究助成」

<http://www.takanofoods.co.jp/company/foundation/subsidy.shtml>

分野等：

- (A) 豆類や穀類の生産技術（栽培、育種、植物栄養、根圏微生物等）に関する研究
- (B) 豆類や穀類、並びにそれらの加工品の食品機能（栄養機能、嗜好機能、生体調節機能等）に関する研究
- (C) 豆類や穀類の利用加工技術、並びにそれらに関連する納豆菌等微生物の特性・酵素等に関する研究

公募期間：平成 28 年 1 月 15 日～ 3 月 10 日

◆ 4 ◆ 新技術情報

☆農林水産・食品分野等の新技術紹介

今回の新技術紹介は、農林水産省の「研究紹介 2014」に掲載された課題からのものです。

1. 園芸関係（果樹）：担い手確保、遊休農地解消のためのカキの軽労・省力化技術
(代表機関：奈良県農業総合センター、研究グループ：和歌山県果樹試験場、農研機構果樹樹研究所) (実用技術開発ステージ・現場ニーズ対応型：平成 22 年～ 25 年)

本研究の背景として、

- (1) カキ産地での生産者の高齢化、後継者不足による栽培放棄や遊休化が進行。
- (2) カキの老木化による生産性の低下。
- (3) 新規就農者や高齢者が取り組みやすい省力的な栽培法が求められている。

本研究の成果

- (1) 「富有」の幼苗接ぎ木翌年（2年目）に着果させながら育苗する施肥、灌水体系の確立。
- (2) 「平核無」、「刀根早生」の既存樹の主幹を切断し早期に樹形改造できる技術の開発。
- (3) 「刀根早生」の冬季せん定時に、結果母枝先端4芽を切断する摘蕾時間短縮法の開発。
- (4) これらの成果のマニュアル化。

(問い合わせ先：奈良県農業総合センター果樹振興センター 電話：0747-24-0061)

研究成果のリンク先：カキ栽培の軽労・省力化マニュアル（奈良県農業総合センター）

<http://www.pref.nara.jp/35894.htm>

.....

編集後記

新年あけましておめでとうございます。

本年も産学連携支援による事業化促進、地域活性化、生物系先端技術の提供等を鋭意進めてまいりますので、ご理解、ご協力の程をよろしくお願い申し上げます。

本年は、TPPの大筋合意に伴う予算措置が講ぜられ、研究開発の面でも緊急対策が進むことが期待されます。また、本年5月には伊勢志摩サミットが開催されますので、海外からの来客が更に増え、東海地域の魅力を知ってもらう良い機会となりそうです。そして、この一年、社会経済、企業・団体、地域が健全かつ着実に発展する年であるように願っています。

ところで、この正月休みに読んだ本に、金丸弘美著「里山産業論～「食の戦略」が六次産業を超える～」(2015年12月発行)があります。最近、農山漁村の活性化、六次産業化が様々に取り組まれています。著者は現場を数多く歩き、それらが点として個々に取り組まれても、地域の活性化に結びつきにくく雇用創出効果も小さいのではないかとこの感想を持ち、このことから、地域が一体的に俯瞰的なマネジメントの下、「食文化と健康作り」を中心として、食文化のテキスト作りや、生産、加工、調理、レストラン、学校給食、景観作り、自然環境、体験学習、地域人材育成などをネットワーク化し、一時的な集客でなく、個人客のリピーターが絶えないようにする戦略が必要であると述べています。地域活性化のためには、若い人、Uターン、Iターン組の雇用を確保できるように地域全体としての六次産業化が必要だと述べています。このように、六次産業化の発想の展開が求

められており、なるほど、こういう考え方も重要なと思った次第です。

===== 《メールマガジンに関するお問い合わせは》 =====

特定非営利活動法人東海地域生物系先端技術研究会 松井・道村

TEL & FAX 052-789-4586

E-mail : bio-tech.co@go8.enjoy.ne.jp

URL <http://www.biotech-tokai.jp/>